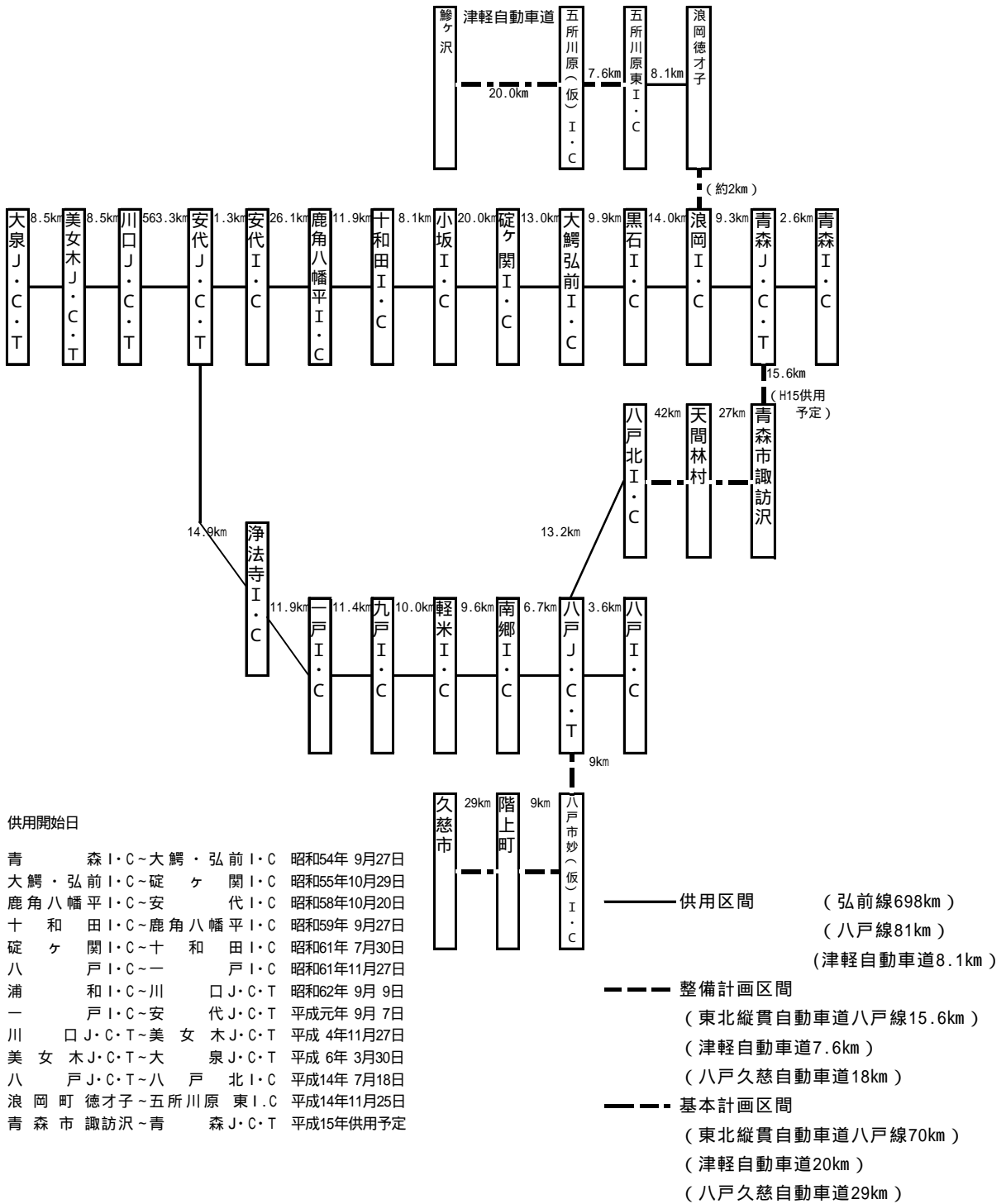


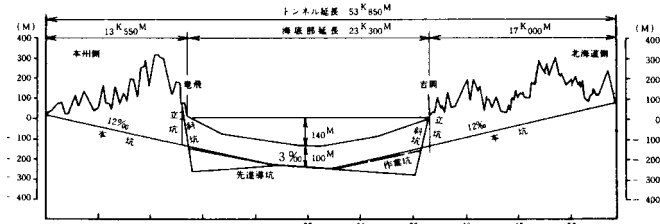
.交通基盤の現況

[1] 高規格幹線道路の整備状況



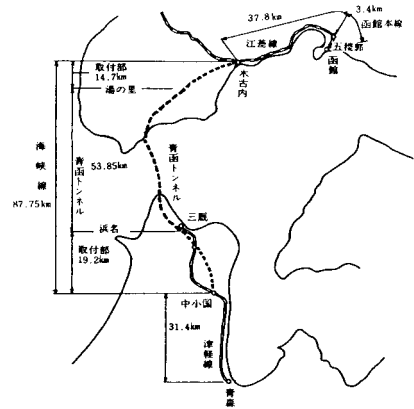
[2] 青函トンネル・津軽海峡線の概要

青函トンネル縦断面図



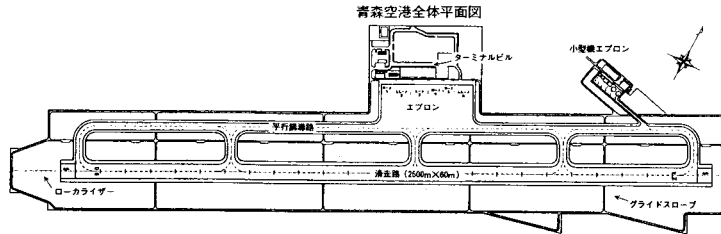
青函トンネルの経緯

昭和21年 4月	地質調査開始	総工事額	6,890億円
昭和46年 9月	本工事に着手	うちトンネル	5,384億円
昭和60年 3月	本坑貫通	うち取付部	1,506億円
昭和63年 3月	津軽海峡線開業		



[3] 空港の概要

(1) 青森空港



概要

滑走路	エプロン	ターミナルビル	駐車場	路線等	備考
長さ 2,500m 幅 60m	6バース 370m x 193.5m 71,595m ² 〔小型機 13バース 9,898.88m ² 〕	延床面積 10,655.91m ²	32,892m ² (約1,000台)	東京(8便) 70分 大阪(2便) 90分 札幌(2便) 45分 名古屋(3便) 80分 福岡(4便/週) 120分 ソウル(3便/週) 150分 ハバロフスク(2便/週) 135分	昭和62年7月にジェット化、平成2年3月に2,500m滑走路が完成

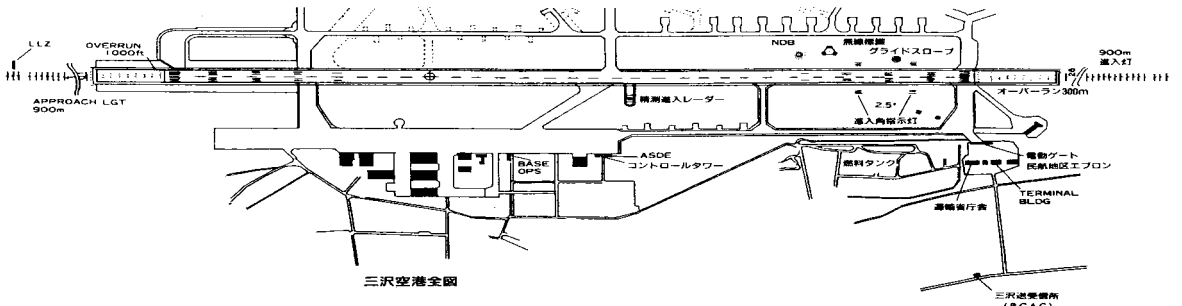
利用状況

路線	10年度		11年度		12年度		13年度		14年度	
	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率
国内線	1,545,487	59.0	1,626,270	62.4	1,542,225	64.7	1,502,846	65.6	1,538,107	65.7
青森 - 東京	941,346	62.1	1,006,476	65.0	982,356	65.9	977,753	63.8	1,010,156	65.6
青森 - 大阪	113,327	62.1	95,980	73.6	97,880	73.9	133,690	73.8	193,742	71.3
青森 - 関西	69,899	58.9	83,357	62.5	79,521	63.4	59,805	69.1	-	-
青森 - 札幌	140,556	57.1	150,366	62.0	152,356	61.4	141,813	63.5	143,079	61.6
青森 - 名古屋	157,281	50.9	161,876	56.8	159,152	57.7	130,022	70.6	129,318	64.2
青森 - 福岡	46,609	70.1	42,575	64.0	44,507	63.9	47,856	71.6	45,556	64.2
青森 - 広島	23,127	51.0	14,691	59.2	10,442	55.6	11,907	62.6	11,635	57.7
青森 - 仙台	33,009	30.1	53,160	34.8	-	-	-	-	-	-
青森 - 沖縄	20,333	80.1	17,789	73.9	16,011	68.5	-	-	4,621	49.4
国際線	34,986	63.6	34,491	67.5	37,697	67.1	32,250	58.3	35,168	61.5
青森 - ソウル	29,802	71.7	29,386	66.4	31,801	66.3	26,857	55.8	30,080	60.9
青森 - ハバロフスク	5,184	38.5	5,105	74.1	5,896	71.9	5,393	74.7	5,088	65.0
合計	1,580,473	59.1	1,660,761	62.5	1,579,922	64.7	1,535,096	65.3	1,573,275	65.6

経緯

- 昭和39年11月 青森空港供用開始(滑走路1,200m)
- 昭和40年 6月 青森・東京間定期便就航
- 昭和44年 7月 青森・札幌間定期便就航
- 昭和48年 4月 滑走路1,400mの供用開始
- 昭和51年 7月 青森・大阪間定期便就航
- 昭和54年 8月 新青森空港建設地決定
- 昭和62年 7月 第1期供用開始(滑走路2,000m)、ターミナルビル開館
- 平成 2年 3月 滑走路2,500mの供用開始
- 平成 2年 7月 全面供用開始
- 平成 4年 7月 青森・名古屋間定期便就航
- 平成 4年10月 ターミナルビル増築完成、供用
- 平成 6年 9月 青森・東京間ダブルトラック化
- 平成 7年 3月 青森・福岡間定期便就航
- 平成 7年 4月 青森・ソウル、青森・ハバロフスク間国際定期便就航
- 平成 8年 1月 ターミナルビル増築完成
- 平成 8年 4月 青森・広島間定期便就航
- 平成 9年 9月 青森・名古屋間ダブルトラック化
- 平成10年 4月 青森・東京間増便(5便/日 7便/日)
- 平成10年 9月 青森・東京間増便(7便/日 8便/日)
- 平成10年11月 青森・仙台間定期便就航
- 平成10年11月 青森・沖縄間定期便(季節便)就航
- 平成11年 5月 6番スポット供用開始
- 平成12年 6月 ボーディングブリッジ1基増設し、4基となる。
- 平成13年 3月 小型機用ノースエプロン拡張供用開始
- 平成13年12月 ターミナルビル前交通島供用開始

(2) 三沢空港



概要

滑走路	エプロン	ターミナルビル	駐車場	路線等	備考
長さ 3,050m 幅 45m	3バース 23,400㎡	3,001㎡	6,885㎡ (230台)	東 京 (4便) 大 阪 (1便) 関 西 (9年11月から運休) 札 幌 (1便)	70分 90分 100分 45分 昭和50年5月から自衛隊、米軍と共同使用

利用状況

路線	10年度		11年度		12年度		13年度		14年度	
	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率	乗降客数	利用率
三沢 - 東京	401,511	59.7	440,738	60.0	431,767	56.6	448,749	59.6	375,824	68.0
三沢 - 大阪	75,369	69.9	86,465	71.8	78,993	67.8	81,115	69.5	82,295	70.2
三沢 - 札幌	68,902	58.1	66,918	55.5	62,831	47.4	58,523	50.4	60,039	51.6
合 計	545,782	60.7	594,121	60.9	573,591	56.7	588,387	59.7	518,158	65.9

経緯

- 昭和50年 5月 三沢空港供用開始(三沢・東京間、三沢・札幌間)
- 昭和52年 9月 空港ターミナルビル供用開始
- 昭和53年 7月 三沢・東京間1日3便に増便
- 昭和55年 5月 三沢・東京間1日4便に増便
- 昭和59年 2月 民航ターミナル地域のエプロンの一部が供用開始
- 昭和60年 4月 新ターミナルビル供用開始
- 平成 5年 4月 三沢・大阪間運行開始
- 平成 8年 3月 三沢・関空間運行開始
- 平成 9年11月 三沢・関空間便運休